



8月ほけんだより



令和8年7月28日
はなほこども園

看護師 *****

● 夏に注意したい感染症 ●

手足や口の中に発疹などができる**手足口病**が、乳幼児を中心に広がっています。国立健康危機管理研究機構（J I H S）が7日に発表した速報値では15都県で患者数が警報レベルを超え、2年ぶりの流行となっているそうです。その他、夏に注意したい感染症を知っておきましょう。

★ 手足口病 ★

手足口病は、感染してから3～5日後に口の中や手足などに水泡を伴う複数の発疹が出る感染症です。

- ・手のひら、足の裏、肘・膝、おしり、口の中などに水疱が出ます。
- ・熱は38℃程度で、出ない時もあります。
- ・髄膜炎や脳症、心筋炎を合併することもあります。

症状が治まった後も数週間は便中にウイルスが排出されます。便処理の際は十分に注意し、手洗いをしっかり行いましょう。



★ 咽頭結膜熱(フール熱) ★

- ・39～40℃台の高熱が4～5日続きます。
- ・のどの痛み、目の充血、目ヤニなどが見られます。
- ・感染力が強く、症状がなくなり、2日経過するまで出席停止となります。

※登園には医師の許可が必要です。

★ ヘルパンギーナ ★

- ・39～40℃台の高熱が2～3日続きます。
- ・のどに水疱ができ、強い痛みが出ます。
- ・のどの痛みで飲食ができないこともありますので脱水症状に注意しましょう。
- ・髄膜炎や心筋炎を合併することもあります。

● フライベートゾーンって なに？ ●

私たちの体は、目も耳もすべて大切ですが、特に大切にしなければならない場所として、プライベートゾーンがあります。プライベートゾーンは、自分だけの大切な場所で、ちょうど水着で隠れている場所と口です。

幼児期は、「人に見せたり触らせたりしてはいけない大切な場所」として伝えましょう。もちろん、他の人のプライベートゾーンも、見たり触ったりしてはいけないことも伝えましょう。

